



事務所：長野県伊那市西町 5016-2 電話 0265(76)5858 例会日：毎週火曜日 例会場：海老屋料理店 0265(72)2158
会長：藤澤健二 副会長：伊澤和男 幹事：多田浩之 公共イメージ向上委員長：三澤耕太



ロータリーは機会の扉を開く

2020-2021 国際ロータリーのテーマ ロータリーは機会の扉を開く

2020-2021 RI会長
ホルガー・クナーク
<ドイツ>



第1584回 第34年度最終例会(夜間例会) 令和3年6月22日(火)

■ 点 鐘 18:30

■ ソング それでこそロータリー 藤澤健二ソングリーダー



■ 会長談話 藤澤健二会長



こんにちは。ワクチン接種が猛スピードで行われている日本ですが、個人的には一年以上も何かとコロナばかりに注目が集まり過ぎたため、取り残された問題などが浮かび上がるのではないかと危惧しています。

しかしながら倉田会員に続いて、我がロータリークラブでは嬉しいニュースがありました。次期幹事でもある熊谷健会員の黄綬褒章受賞です。また、後ほど授賞式にてプロフィールなど御紹介をさせていただきますが、皆さんもご存知かと思いますが、とてもお茶目な面も有ります。ギターを手にしたらカラオケのマイクのように放しません。「高田渡」「友部正人」さんとか個人的には知らない方の曲ばかりですが、良く覚えてると思うのですが次から次へと唄われます。実は…。ここだけの話ですが、授賞式の後に一曲唄って頂く…予定でしたが…。本人から却下されました。是非とも次年度への申し送り事項として会員卓話のかわりに「熊谷健ワンマンコンサート」を実現して頂ければと切に願います。よろしくお願いいたします。

さて、今期は昨年度3月頃から続いて予測の出来ないコロナ禍の中での手探り状態のスタートでした。例会を続けて行くと言うロータリーのもと、休会とZOOM例会、通常例会とZOOMとの併用など提案をさせて頂き、その度に予定の修正と確認もありましたが、会員の方々にも協力をして頂きました。また、その結果として「デジタル化推進委員」「奉仕プロジェクトチーム」2つの新しい試みも生まれた事は事実であり良い結果としても受け止めております。

残念なことと言えば、クラブ会長でありながら私用により昨年の9月中旬から3月まで休会をしたこと。役員と会員の皆様、多田幹事、宮下SAA、事務局の武井さんには、留守の期間中は大変お世話になりました。

また、夜間の例会が7月1回のみとなっておりましたが、最終を夜間例会として開催が出来た事は次年度に繋げる意味において良い締めとなりました。役員、三役を代表して御礼の言葉とかえさせていただきます。一年間お世話になりました。

以上、短いですが最終の談話とさせていただきます。有難うございました。

■ 幹事報告 多田浩之幹事 幹事報告は別紙をご覧ください。



■ 委員会報告

・6月22日（火）信大留学生教育助成金贈呈式の報告

池上幸平会長エレクト



11時から信州大学農学部のエデュケーション助成金贈呈式に行き参りました。第35年度は2名の学生を支援する事になりました。スダシンハ サッタヤ プラバンダカさん（スリランカ）と コウンギョンさん（韓国）です。藤田智之学部長は大変喜んでおられました。

・第28回インターアクト地区大会について

井上修実行委員長



7月24日（土）にインターアクト地区大会が行われます。今年は新型コロナウイルスの状況を考慮してZOOM開催となりますが、皆さんご参加の程よろしくお願ひします。

今回は講師として、道頓堀の掃除活動、門真を中心に家庭状況の厳しい子ども達を対象とした「子ども食堂」「寺子屋」など様々なボランティアにも参加されている教育活動家の杉本哲也氏と、ジャパンハートの理事長であり小児癌と向き合う子どもや家族を支援されている吉岡春菜氏をお招きいたします。

インターアクト生の皆さんには5分間の中で、活動報告と地区から提供されたりモート機器を使用した新たな例会の形を考えて発表していただきます。

地区大会の登録料については伊那中央ロータリークラブの会員皆さんにご負担いただきますが、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

※プログラムは巻末をご参照ください。

■ ニコニコボックス

◆藤澤健二

一年間、大変お世話になりました。

◆多田浩之

本日は熊谷健会員、褒章受章おめでとうございます。

会員の皆さま1年間ありがとうございました。本日の会をもち幹事の大役を終る事が出来ました。本当にありがとうございました。男はだまって1万円。

◆宮下健

SAAまた、奉仕プロジェクト委員長とし一年間大変お世話になりました。実は私、4月よりPTA会長でもあります。先日のPTA作業ではバッテリータイプの新品ビーバーを買って会長としての意気込みを見せましたが、誰も気づきませんでした。これからの季節「草刈り奉仕活動」をして地域・学校にPRしたいと思います。

熊谷会員、本日はおめでとうございます。

◆熊谷健

本日は私めのために「受賞式」なんぞを開いていただき、誠に恐縮です。ありがとうございます。褒章など取っても、人間は今までと変わりませんので、今までどおり宜しくお願い致します。

◆馬場秀則

胃ガンの手術も無事終了。お見舞いをいただいた半返し。これからは出席できると思います。弁当の例会は欠席です。

◆矢島宏

熊谷健さん、黄綬褒章祝賀会おめでとうございます。

◆田中洋

熊谷さん、黄綬褒章受章おめでとうございます。伊那中央ロータリーの誇りがまた一つ増えました。共々によろこび合いたいと思います。

◆池田幸平

熊谷さんの受章を讃え、心よりお祝い申し上げます。おめでとう！

◆下井達典

第34期終了、お疲れさまでした。初めて体験するコロナ禍の中で活動に取り組んだ藤澤・多田年度の御苦勞に意（おもい）を致し、関係者に心からの敬意を表します。御苦勞様でありました。

◆小川秋實

熊谷会員の受章、まことにおめでとうございます。

- ◆伊澤和男 健君おめでとう!これからも偉い人にならず、変らずよろしく願い申し上げます。
- ◆池上幸平 健さん、黄綬褒章受章おめでとうございます。これからも御指導いただきます様にお願い致します。
- 受章に際しての根回し等がありましたら教えてくださいネ……
- ◆唐澤千明 熊谷会員、受章おめでとうございます。
- 藤澤会長・幹事・SAA、1年間お疲れ様でした。
- ◆平澤理 熊谷さん「黄綬褒章」受章おめでとうございます。本日出席できず残念です。
- ソングの指揮を会長にお願いし申し訳ございませんでした。
- 又、過日のゴルフではまぐれにも優勝でき大変うれしく思っております。熊谷部長・小椋幹事、一年ご苦労様でした。
- ◆井上修 インターアクト地区大会の要項が完成しました。ご協力ありがとうございました。
- ◆三澤耕太 本年度、公共イメージ向上委員長を皆様のおかげで務める事ができました。ありがとうございました。
- ◆原誠 皆さん大変ご無沙汰していて申し訳ございません。覚えてますか？
- 熊谷健先生、この度は黄綬褒章受章誠にありがとうございます。また、お世話になると思いますが宜しくお願い致します。
- 藤澤会長、一年間お疲れ様でした。那須屋新会長、新年度は出席できるように頑張りたいと思います。みなさん今日はたくさん飲んでください。
- ◆吉原弘明 ご無沙汰しております。
- ◆原一馬 皆様のおかげで、ロータリー財団委員会を務める事ができました。ありがとうございました。
- 熊谷健さん、受章おめでとうございます。
- ◆事務局・武井 藤澤会長さんはじめ伊那中央ロータリークラブの皆様、一年間大変お世話になりありがとうございました。次年度もどうぞよろしくお願い致します。

■ 出席報告 会員数45名 出席免除会員5名 長欠会員1名 本日出席率100% 前回出席率修正なし

■ 現・次年度合同理事会報告 熊谷健次期幹事

1. 次年度役員・理事・委員会構成について
2. 次年度名誉会員の推戴について
3. 次年度伊那RC・伊那中央RC 取り決め事項について
4. 次年度行事予定案と予算案について
5. 次年度誕生祝い品について
6. アオギリ例会について
7. 7月の行事予定並びにメイクアップ扱いについて
8. その他

■ 第35年度年間行事予定等発表 熊谷健次期幹事より次年度の行事予定について発表がありました。



■ 第35年度予算発表

多田浩之次期会計より次年度の予算発表がありました。



■ 点 鐘

19:00

熊谷健会員「黄綬褒章」受賞祝賀会



進行：宮下健SAA

1. 祝辞 藤澤健二会長



この度は褒章の栄に浴され誠にありがとうございます。これも、全身全霊をかけて伊那市と業界の発展のために尽力された賜物と存じます。長年の功績が認められ栄えある受章をされたこと、ロータリー会員一同、心から喜んでおります。

ここで熊谷健会員のプロフィールをご紹介します。昭和33年生まれ、現在63歳。ストレートに明治大学法学部法律学科を卒業、司法書士試験に合格。

平成8年度には青年会議所理事長。その後は小学校、伊那北高校のPTA会長をされ、平成19年度からは4年間におよび伊那市教育委員をされております。また、司法書士会では平成23年度から27年度まで司法書士会会長もされております。ロータリーの会員でもある時期とも重なり、大変に多忙な日々だったと容易に想像が出来ます。現在は平成29年度からの日本司法書士会理事を通し、量定意見審査会委員、司法書士執務調査室室員、マナーロンダリング・テロ資金供与対策等対応プロジェクトチーム委員、などもされているとのこと。

ますますのご活躍をお祈り申し上げます。ありがとうございます。

2. 記念品・花束贈呈 網野裕美会員・伊藤かおり会員



3. 受章のこぼ 熊谷健会員



春の褒章で、黄綬褒章を受章しました。「褒章」とは、特定の分野での事蹟や徳行の優れた者に授与されるもので、黄綬褒章は特に、特定の業務に精励した者を対象としています。私は、司法書士業務に精励いたということで受賞しました。

私は、昭和59年（1984年）開業、司法書士になって36年が経ちました。

若い頃はいい加減で、（まあ今でもいい加減なところはありますが、）「歌って踊れる司法書士」などと言って、夜の街を大騒ぎしていたりしました。

司法書士を始めた当時の社会は、高度成長社会を反映して、道路や鉄道、電気水道などのインフラ整備が進み、国は「持ち家政策」を主導して、住宅金融公庫による低金利の貸付を推進し、住宅ブームの真っただ中にあったと思います。司法書士も、その中で住宅関連産業の一員として不動産登記事件を増やしてきた時期でありました。

私は、2年ほど東京で修行してから、伊那へ帰って父とともに司法書士を始めた。父は、皆さんご承知のとおり商売っ気のない人で、東京で修行してきた私はそんな父の仕事のやり方がもどかしかった。事務所経営で色々とい争いが絶えなかったものです。

私は、司法書士としてもっと稼ぎたいと思い、それから「ビジネスとしての司法書士」にまい進しました。どんな仕事でもやろうと思い、実際、どんな仕事も断らずこなしてきたと思います。ゴルフも覚え、銀行や不動産屋のゴルフコンペにもよく出かけた。地域で知り合いを得ようと青年会議所にも入り、そんなこんなで、事件数は伸びました。そんな司法書士生活が10年位続きました。

そんな私のビジネスとしての司法書士を考え直すきっかけとなったのが、多重債務者の問題に関わったことです。バブルが崩壊し、そのツケが市民に回ってきました。1990年代半ば頃から、クレジット・サラ金業者による高金利な貸し付けにより多重債務に陥る人々が増大し、自己破産は社会現象化しました。

その頃から、自己破産申立てや、サラ金に対する調停申立てなど、債務整理の仕事は、積極的にこの問題に取り組み多重債務者救済に当たろうとする、一部の司法書士の日常業務になりました。本来、受け皿となるべき弁護士の数も不足していました。

多重債務者から電話があると、貸付先の資料を持ってくるよう指示して、主に夜、相談に応じます。相談者の多くは、債権者からの厳しい取り立てに耐え切れず司法書士事務所に来るのです。当時、司法書士は、弁護士のように債権者と交渉することは認められていなかった。だから、仕事を受けたらなるべく早く、2、3日後には破産申立てをしなければならない。そうしないと債務者が持たないのです。だから、当時私たちは、夜相談に乗って、その夜に申立て書類を作成して、翌日か翌々日には裁判所に提出するというような仕事を続けていました。

債務整理業務を始めて感じたことは、「登記の仕事のように約束や信頼関係を前提に行える業務ではないということ」、そして、約束を守らない債務者も多かったのですが、「約束を守らないということは、その人の悪意や邪心ではなく、約束を守る能力が劣っていることだということ」を知ったことです。多重債務者は、結局何の得もしていません。そういう債務者の多くが、この国の光の当たりにくい部分で生活しているという現実と、もしも、司法書士に出会わなければ、彼らにどういう結末が訪れるだろうということを考えなければならませんでした。

忘れられない相談があります。50代の女性の方からでした。若い頃、夫と死別して2人の子供を女手一つで育ててきました。「その長男が、会社の上司に頼まれてカードを貸して、その返済ができなくて自殺したというものです。まだ20代の独身の長男でした。親として、長男の借金を支払っていかねばならないか？」という相談でした。母親が手塩にかけて育てた息子が、他人の借金で自殺に追い込まれてしまう。実際、そんな痛ましい事件が全国至ることをにありました。何故そうなる前に、私たち専門家が手を差し伸べられなかったのか？彼らの見える場所にいらなかったのか？そんな思いから、司法書士会では、クレジット・サラ金の無料相談活動を活発に行いました。

彼らに比べ明らかに得をしているのが、サラ金業者でした。当時未だ公開されていた高額所得者番付には、サラ金大手（武富士・アコム・プロミス・レイク・アイフルなど）の経営者が名を連ねていました。私たちは、この格差を是正しようと、サラ金をターゲットに、過払金の返還請求の訴訟を毎月何件と起こしました。その結果、業者は多額の不当利得金の返還が業績を圧迫し、倒産や解体、吸収合併等が相次ぎました。また、貸金業法の全面的な改正が施行されたことにより、消費者側の勝利として一応の終止符を打ったと思います。多重債務問題に関われたことは、私を成長させてくれたと思っています。

そして、私は、平成23年度から26年度まで長野県司法書士会の会長を務めさせていただきましたが、会長の最初の年、3月11日「東日本大震災」が起きました。被災者の方々もまた、法の光に当たりにくい所にいました。そのような方々の相談に応じ支援に繋げることが司法書士の使命と感じ、長野県司法書士会の多くの会員を被災地の相談活動に駆り出しました。

今回の黄綬褒章は、私にというよりも、私と共に司法書士活動に関わり、支えて下さった多くの司法書士の言わば代表として受章できたものと思っています。

ロータリー会員の皆様には、このような場を設けていただいたことに感謝します。褒章をとっても、人間は今まで通り変わりませんので、引き続き仲良くしていただければと思います。本日は、ありがとうございます。

4. 乾杯 池上幸平会長エレクト



熊谷健さん、受章おめでとうございます。

健さんは皆さんご承知の通り、仕事熱心で時間に関係なく困った人のために問題を解決される頼りになる人であります。来年度は一年間幹事でお世話になりますが仲良くしてください。頼りにしています。

健さん！黄綬褒章受章おめでとうございます。乾杯！

5. 祝宴

6. ソング「手に手つないで」 藤澤健二ソングリーダー



7. 万歳 伊澤和男副会長



8. 閉会の辞 唐澤千明直前会長



次回例会
7月6日(火) 点鐘 12:30 場所 海老屋料理店
・第35年度初例会

国際ロータリー第 2600 地区 2021-2022 年度

第 28 回

インターアクト地区大会

大会テーマ

Next Stage

～ いまだからできること 3 光 (みつ)
「見つめる・見つける・見つかる」～

2021-2022年度 RIテーマ

「奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために」

とき	2021年 7月 24日 (土)
ところ	伊那西高等学校「Zoom 開催」
ホスト	伊那西高等学校インターアクトクラブ
スポンサークラブ	伊那中央ロータリークラブ

国際ロータリー第 2600 地区 2021 ～ 2022 年度
第 28 回 インターアクト地区大会
プログラム

日時:令和3年7月24日(土)

場所:伊那西高等学校

大会テーマ

Next Stage

～いまだからできること 3光(みつ)「見つめる・見つける・見つかる」～

午前中	準備	
12 時 30 分	登録・受付開始(会場来場者対応)	
13 時	開会式	司会 伊那西高等学校インターアクトクラブ理事 久保田 桜
	点鐘	地区代表 伊那西高等学校インターアクトクラブ会長 佐藤 愛菜
	開会宣言	伊那西高等学校インターアクトクラブ幹事 高橋 希
	国歌・インターアクトの歌斉唱	
	歓迎の言葉	地区代表 伊那西高等学校インターアクトクラブ会長 佐藤 愛菜
	大会実行委員長挨拶	伊那中央ロータリークラブ インターアクト地区大会実行委員長 井上 修
	出席者紹介	伊那西高等学校インターアクトクラブ幹事 高橋 希
	挨拶	国際ロータリー第 2600 地区ガバナー 桑澤 一郎
	挨拶	伊那中央ロータリークラブ会長 池上 幸平
	挨拶	伊那西高等学校校長 出野 憲司
	点鐘	地区代表 伊那西高等学校インターアクトクラブ会長 佐藤 愛菜
13 時 30 分	各 IAC 取組紹介	
	・前半 2 分	2020 年 4 月から 2021 年 5 月までの活動報告
	・後半 3 分	課題「地区より提供いただいたリモート機器を使い、新たな例会活動を提案する」検討結果発表
	1 校 5 分×10 校	
	(休憩及び時間調整)	

14 時 30 分	講演会 (30 分) 講師 吉岡 春菜 (よしおか はるな) 様 演題「医療の届かないところに医療を届ける活動を通して伝えたいこと」 質疑応答 (5 分) 休憩 (10 分)	
15 時 15 分	講演会 (30 分) 講師 杉本 哲也 (すぎもと てつや) 様 演題「日本に広がる子どもの貧困に対して、皆さんができること ～3 光 (みつ)「見つめる・見つける・見つかる」～」 質疑応答 (5 分) 休憩 (10 分)	
16 時 30 分	閉会式	司会 伊那西高等学校インターアクトクラブ理事 久保田 桜
	点鐘	地区代表 伊那西高等学校インターアクトクラブ会長 佐藤 愛菜
	お礼の言葉	地区代表 伊那西高等学校インターアクトクラブ会長 佐藤 愛菜
	大会講評	国際ロータリー第 2600 地区 青少年奉仕委員会カウンセラー 中川 博司
	IA 委員会講評	国際ロータリー第 2600 地区 インターアクト委員長 飯沼 新吾
	次期ホスト校挨拶	長野女子高等学校インターアクトクラブ会長 山上 綾乃
	次期スポンサー RC 挨拶	長野西ロータリークラブ会長 中野 欣哉
	閉会宣言	伊那西高等学校インターアクトクラブ幹事 高橋 希
	点鐘	地区代表 伊那西高等学校インターアクトクラブ会長 佐藤 愛菜
	諸事連絡	
16 時 50 分	終了	